

編集後記

アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル (AJJ) 第 13 号は、実践報告 3 編、調査報告 3 編、短信 3 編の計 9 編となりました。新型コロナウイルス感染症が引き続き拡大している状況においてオンライン授業関連の報告が多く見られるほか、「デザイン思考」や「言語仲介」など多様な内容となっています。

昨年より AJJ 編集委員会では非査読誌としての AJ ジャーナルの方向性を再検討してきました。その結果として、「短信」は萌芽的なアイデアや所感・随想等の発信等を行うものとして位置づけ、原則として、アドバイスは行わないこととなりました。昨年 12 月の投稿規定の改正から投稿締め切りまで、わずかな期間だったにもかかわらず、今号において 3 編の短信を掲載することができました。執筆者のみなさまに感謝いたします。

今後も AJ ジャーナルをより良い形に改善してまいります。みなさまのご意見をお聞かせいただければ幸いです。

(編集委員 N. T. 記)

刊行：2021 年 8 月

編集委員* (**は委員長)・アドバイザー五十音順

*石澤徹 (東京外国語大学) *伊藤奈津美 (早稲田大学)・牛窪隆太 (東洋大学)

*大島弥生 (立命館大学)・*大野早苗 (順天堂大学)・木下謙朗 (龍谷大学)

*小森万里 (大阪大学)・**田中信之 (富山大学)・内藤真理子 (電気通信大学)

藤田裕一郎 (朝日大学)・ボイクマン総子 (東京大学)・三代純平 (武蔵野美術大学)

茂住和世 (東京情報大学)・*吉田美登利 (東京工業大学)・*脇田里子 (同志社大学)